

回覧

令和3年7月1日
太地町役場住民福祉課

町民各位

新型コロナウイルスワクチン接種について

太地町では、4月24日から、新型コロナウイルスワクチン接種を開始しました。現在、16歳の方までご案内しています。多目的センターでの集団接種は下記の日程で終了予定です。

ワクチン接種を希望される方で、まだ申し込みをされていない方は、新型コロナウイルスワクチン相談窓口(☎ 0735-59-2335)まで、ご連絡いただきますようお願いいたします。



1. 接種会場 多目的センター

2. 接種日時

1回目		3週間後	2回目	
①7月10日(土)	8:45~11:30		①7月31日(土)	8:45~11:30
②7月12日(月)	12:45~14:30		②8月2日(月)	12:45~14:30
③7月13日(火)	12:45~14:30		③8月3日(火)	12:45~14:30

※ 希望する日時がある方は、申込時にお申し出ください。

1回の接種人数に制限があるため、希望日時に接種できない場合もありますので、予めご了承ください。平日は、お待ちいただく時間が少ない状況です。時間に都合がつく方は、平日の接種をお薦めします。

3. 接種料 無料

新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談やお問合せは

新型コロナウイルスワクチン相談窓口 ☎ 0735 - 59 - 2335(代表)

開設日時：月曜日～金曜日(祝祭日は除く)8:30~17:00



【裏面をご確認ください】

ワクチンについて

どんなワクチンを 何回接種するの？	ファイザー社のワクチンを使用します。 通常、3週間の間隔で2回接種します。
ワクチンの効果は あるの？	ワクチンを受けた人が、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないことがわかっています。さらに発症した人が重症化する割合も少ないことがわかっています。
ワクチンの 副反応って何？	主な副反応は、注射をした部位の痛みや腫れ、発熱、頭痛、関節の痛みや筋肉の痛み、だるさ等です。 コロナワクチンを接種すると新型コロナウイルス感染症にならないように、体の中で免疫が作られます。注射部位の痛みや腫れ、発熱、頭痛、だるさなどの通常の副反応は、その免疫の反応です。 副反応は、1回目より2回目の接種で、症状が出やすくなります。
どのような人に 副反応が 出やすいの？	強い反応が、どの人に出るかは予測できません。過去にアレルギー症状のあった方は、主な副反応の症状が強くなる可能性があります。 過去に薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある方は、接種前の診察で必ず医師に伝えてください。
副反応は どれくらいで 治まるの？	通常の副反応は、接種後、数日以内に回復します。38℃以上の発熱や頭痛を伴うこともあります。解熱鎮痛薬を服用することも可能です。 なお病気治療中の方で消炎鎮痛剤などを服用されている場合は、主治医・薬剤師に服用についてご相談ください。 副反応の症状が強い場合や治まらない場合は、医師の診察を受けてください。
重い副反応は どれくらい出るの？	ごくまれに蕁麻疹が出る、気分が悪い、動悸がする、冷や汗がなどの症状が出ます。

重篤な病気治療中の方やアレルギーのある方等で、接種を希望される方は、ワクチン接種の予約前にかかりつけ医と接種についてよくご相談ください。

町外の医療機関での接種について

町外の医療機関で接種を希望する場合は、医療機関または医療機関が所在する自治体へお問合せください。その結果、接種をする場合は、医療機関が所在する自治体への申請が必要になります。手続きは当該自治体へお問合せください。
但し、新宮市及び東牟婁郡に所在する医療機関の場合は自治体への申請は不要です。医療機関に直接ご予約ください。